

# JLS 通信

広島市障害者就労支援事業 2022 年 4 月春号

この JLS(ジョブ・ライフサポーター)通信では 3 ヶ月に一度、JLS の行ってきた活動や障害者の雇用に関わる情報などを掲載しています。今年度も継続して配信しますので、よろしくお願いいたします。

## 1. JLS が行う定着支援について

広島市の関係団体では、最長 1 年 10 カ月の期間、障害を持たれた方を臨時職員として採用しております。JLS はその採用期間中の定着支援を行っています。

この度は広島市安佐動物公園にご協力いただき、実際に働かれている O さんと担当の職員の方々にインタビューさせていただきました。

—今どのようなお仕事をされていますか？

**O さん** 屋外清掃や園内の維持管理を行っています。  
—アルバイト以外の就労経験がないと伺いましたが、こちらに勤務されてお仕事へのイメージは変わりましたか？

**O さん** 「仕事」というとデスクワークのイメージが強かったですが、色んなことをさせていただいて、それがどんどん経験になっていて楽しいです。

—外での作業があって体を動かして、といった職業はご自身に向いていると思いますか？

**O さん** はい、この仕事をさせていただいて(デスクワークなどより)こっちの方がいいなあと思いました。



—今日は寒いですが、外での作業で何か寒さ対策をされていますか？

**O さん** 足が冷えるので長靴の中にカイロを入れています(笑)

—今まで苦手意識があったことに対して、お仕事をしています何か気持ちの変化はありましたか？

**O さん** うーん…

**職場の Y さん** (何か)苦手というよりも、やることのないことをやったり、挑戦ができたというのが楽しいというか、それが意欲につながっているのかなと見ていて思います。皆がやっているなら自分もやってみようかというモチベーションがあるので。こちらとしても「やってみるか」と伝えやすいというか。  
—作業の様子を見せていただいて、次に何をすべきか、ご自身で考えながらスムーズに動いているなという印象を持ちました。

**O さん** 一応周りはよく見て、自分にできることがあったらすぐに動くように意識しています。

**Y さん** ゼロからのスタートでステップアップしていくために、一緒に働いている仲間が何をしているのかをよく見ているからこそ、何が必要か見て判断できているのだと思います。

—お仕事のモチベーションは何ですか？

**O さん** お給料をいただいて、その中から毎月両親に 3 万円渡すことができている、親孝行していると思えることがモチベーションになっています。

—最後に、これから就職を目指されている方に、O さんが働く上で大事だと思うポイントがあれば教えてください。

**O さん** そうですね、自分は 3 つあると思っています。1 つ目は報連相をしっかりやること。2 つ目は(作業の)基礎や基本をちゃんとやること。あと 3 つ目は何事も継続してやるのが大事だなと思って仕事をしています。上手いかわかなくても、まずは続ける力が大事なかなと思います。

～職場の T さんからのコメント～

清掃だけでなく園内の維持管理作業も行ってありますが、周りの職員とのコミュニケーションも良好で、仕事の内容を理解して安全に作業を行っており、安心して作業を任せることができます。安全面にも配慮しながら、できることを徐々に増やしてステップアップしてほしいと考えています。

お仕事を始められて現在約 10 カ月ですが、お話をされながら終始笑顔が見られ、楽しく働かれている様子がうかがえました。周りを見ながら自ら動くことや新しいことへの挑戦は簡単なことではありませんが、それらへの意識と責任を持って業務に取り組まれていることで、O さんは職場の皆さんからの信頼を得られていると感じました。

## 2. 企業の方へのアンケートについて

本事業では、一般就労を希望されている障害のある方を対象とし、企業から受入れの協力を得て障害者就労体験実習を実施しています。（※ご利用中の就労移行支援事業所等からの推薦によるお申込みとなります。）

この度、協力企業の中から 7 社のご担当者様に、体験実習や障害者雇用に関するアンケートにお答えいただきました。「体験実習をしてみたい」、「これから就職活動を行う」という皆様は、ぜひご参考になさってください。

Q. 体験実習を受入れていただき、障害を持つ方へのイメージに変化がありましたか？ はい … 4 社 / いいえ … 3 社

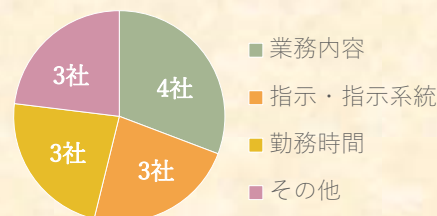
- ・障害者の方への仕事を教える際の難しさを聞いていたが、数日で仕事に適應できていることに驚いた。それと同時に、当社での障害者雇用のハードルが下がり、雇用促進に繋がっていると思う。
- ・直接の会話が苦手な方でも、支援の方を通して、仕事に対する熱意や想いを感じ取ることができた。
- ・実習に携わる部署では、受入れ前の準備や実習を通して、障害のある方への温かい声掛けが増え、「寄り添う気持ち」や「見守る気持ち」が生まれている。

Q. 体験実習を受けていただいた中で、何か困った事はありましたか？ はい … 2 社 / いいえ … 5 社

- ・筆談でのやり取りが難しかった。
- ・言われたことには一生懸命取り組めるが、応用が難しいようで、どのように声掛けをしてあげればよいか迷った。

Q. 障害を持つ従業員の方に対し、何か配慮されていることはありますか？ はい … 5 社（無回答 1 社）  
（現在、障害者を雇用している企業 6 社。複数回答あり。）

- ・部署内への協力体制として、障害の程度や関わり方を上長が説明する。
- ・業務指示を出すのは特定の社員に決めている。



Q. 体験実習で印象に残っている出来事がありますか？

- ・製造の機械にとっても興味を持たれた方がおられ、関心のある職に就くと力を発揮されるのだらうと思った。
- ・片手に障害を持たれたある実習生の方が、本数の少ない帰りのバスに乗らなければならない中、帰り支度に手間取り、担当者も慌てて送り出す状況となり、無事に帰れたか心配していた。すると 30 分後にその方から「無事に帰りました」と連絡があり、安心したのはもちろん、自主的な報告をされたことに感動した。
- ・わからないなりに一生懸命学ぼうとしている姿勢。
- ・何らかの自信を得るきっかけになればという思いで実習を受け入れてきましたが、皆さん本当に真摯に作業をこなされ、非常に感謝しています。そんな折に、ご本人から手書きの丁寧なお礼状をいただいたことがあり、読ませていただいてとても感動しました。

Q. 一般企業での就職を目指す障害のある方へのアドバイスや、ご意見・ご感想などがあれば教えてください。

- ・興味のある職種があれば、(体験実習は)実際の企業で実感し、ご自身の仕事への思いや考えを具現化するためのツールとして活用できるものだと思う。体験したことが、その後、仕事へのやりがいにつながっていくと思う。
- ・帰宅後も仕事について考えこんでしまう方がおられると聞くと、そのような方は 1 日の作業の終わりが明確な仕事を探してみると、1 日ごとに気持ちをリセットしやすいのではないかなと思う。
- ・まずは自分がやってみたいと思うことを一生懸命やるのが大切だと思う。自然と周りの方がフォローしてくださるので、最初の一步が大事。
- ・笑顔と挨拶ができれば印象が良い。自信を持って頑張ってください。

～アンケートにご協力いただいた企業様～ (50 音順・敬称略)      ご協力いただき誠にありがとうございました。

アクト中食株式会社 / 株式会社ポップジャパン / 株式会社丸猫 / 株式会社明光堂

社会福祉法人 西中国キリスト教社会事業団 広島キリスト教社会館 / 巴屋清信有限会社 / その他 1 社

### JLS へのお問い合わせ

【中・西・安佐南・安佐北・佐伯区エリア】

社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会 (4 名配置)  
西区打越町 17-27 育成会総合福祉センター内  
TEL (082)537-1088 FAX (082)537-1090

【東・南・安芸区エリア】

社会福祉法人 つつじ (2 名配置)  
東区若草町 15-20 広島東障害者就業・生活支援センター内  
TEL (082)262-5100 FAX (082)262-5102